



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 アジアパイルホールディングス株式会社
コード番号 5288 URL <https://www.asiapile-hd.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長最高執行役員 (氏名) 黒瀬 修介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画部長 (氏名) 道券 宏之

TEL 03-5843-4173

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	82,519	19.6	5,402	161.9	5,128	147.8	3,645	171.5
2022年3月期第3四半期	69,011	1.8	2,062	33.6	2,069	27.1	1,342	47.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 5,144百万円 (156.7%) 2022年3月期第3四半期 2,003百万円 (28.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	95.72	
2022年3月期第3四半期	35.25	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	98,069	45,754	41.9	1,078.09
2022年3月期	85,755	40,889	43.5	978.92

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 41,063百万円 2022年3月期 37,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		10.00		10.00	20.00
2023年3月期		10.00			
2023年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	17.0	6,000	174.7	5,500	153.5	3,700	147.6	97.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2023年1月27日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	38,089,792 株	2022年3月期	38,089,792 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	805 株	2022年3月期	735 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	38,089,011 株	2022年3月期3Q	38,089,198 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進む中、世界規模での需要急増の影響を受けて原材料や資源の価格が高騰し、それにウクライナ情勢や急激な円安の進行が加わり、先行き不透明な状況が続きましたが、一方で設備投資が回復し、個人消費も緩やかに持ち直しました。

当社グループが主として属するコンクリートパイル業界も、大規模な物流倉庫や工場等、サプライチェーンの改革やDX化の進展等に伴う民需が増加したことから、全体の出荷量は前年同四半期比増加となりました。

このような事業環境のもと、当社グループは5か年計画の4年目として、日本国内及びアセアン地域における最高の技術力と基礎建設能力を有するグループを目指し、引続き体制整備に取り組んでまいりました。国内事業では、新工法「Smart-MAGNUM」工法の拡販を継続、同工法の施工性能の優位性を核に積極的な提案営業を展開してまいりました。また、海外事業では、ベトナムの事業子会社Phan Vu Investment Corporationは、日本の事業子会社ジャパンパイル㈱との技術連携を推進するとともに、採算を重視した受注活動に注力してまいりました。ミャンマーでは、全体の経済活動の停滞が続き、事業子会社VJP Co., Ltd. は事業活動がほぼ停止した状況が続きました。

売上高に関しましては、国内事業において建設需要の増加を受け、新工法を中心に大型工事が順調に完工したことから、全体として増収になりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は825億19百万円（前年同四半期比19.6%増）となりました。利益面では、国内事業での新工法の販促による増収効果と新工法の施工効率の改善が寄与し工事粗利率が改善したことから、営業利益は54億2百万円（同161.9%増）、経常利益は51億28百万円（同147.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は36億45百万円（同171.5%増）となりました。

なお、セグメント別の経営成績は以下の通りです。

国内事業	売上高	678億12百万円（前年同四半期比20.1%増）	営業利益	45億94百万円（同234.9%増）
海外事業	売上高	148億35百万円（前年同四半期比18.0%増）	営業利益	9億10百万円（同27.5%増）

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ123億13百万円増加し、980億69百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が17億56百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が49億69百万円、棚卸資産が合計で28億6百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ74億48百万円増加し、523億15百万円となりました。主な要因は、ファクタリング未払金が13億2百万円、未払法人税等が9億8百万円、借入金が合計で34億64百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による増加36億45百万円、配当金の支払いによる減少7億61百万円、為替換算調整勘定の増加9億19百万円、非支配株主持分の増加10億87百万円などの結果、前連結会計年度末に比べ48億64百万円増加し457億54百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年1月27日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,757	16,514
受取手形、売掛金及び契約資産	32,980	37,950
未成工事支出金	2,296	2,536
商品及び製品	5,479	7,636
原材料及び貯蔵品	2,239	2,648
その他	620	902
貸倒引当金	△915	△1,404
流動資産合計	57,457	66,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,835	8,424
その他（純額）	15,715	17,756
有形固定資産合計	23,551	26,180
無形固定資産		
のれん	131	125
その他	461	460
無形固定資産合計	593	585
投資その他の資産		
その他	4,252	4,559
貸倒引当金	△98	△39
投資その他の資産合計	4,153	4,520
固定資産合計	28,298	31,286
資産合計	85,755	98,069

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,223	15,679
ファクタリング未払金	11,494	12,796
短期借入金	7,247	9,219
1年内返済予定の長期借入金	1,246	1,255
未払法人税等	243	1,152
契約負債	1,040	1,752
賞与引当金	416	268
完成工事補償引当金	126	152
工事損失引当金	111	69
その他	2,503	3,256
流動負債合計	39,654	45,603
固定負債		
長期借入金	2,587	4,070
役員退職慰労引当金	214	226
退職給付に係る負債	830	870
その他	1,579	1,544
固定負債合計	5,212	6,712
負債合計	44,866	52,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,621	6,621
資本剰余金	8,706	8,706
利益剰余金	21,109	23,993
自己株式	△0	△0
株主資本合計	36,437	39,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	766	741
為替換算調整勘定	73	992
退職給付に係る調整累計額	8	7
その他の包括利益累計額合計	849	1,742
非支配株主持分	3,603	4,691
純資産合計	40,889	45,754
負債純資産合計	85,755	98,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	69,011	82,519
売上原価	60,271	69,645
売上総利益	8,740	12,873
販売費及び一般管理費	6,677	7,471
営業利益	2,062	5,402
営業外収益		
受取利息	7	22
受取配当金	68	85
為替差益	—	63
その他	258	110
営業外収益合計	334	282
営業外費用		
支払利息	280	428
持分法による投資損失	—	67
その他	47	60
営業外費用合計	327	556
経常利益	2,069	5,128
特別利益		
固定資産売却益	10	116
投資有価証券売却益	29	10
特別利益合計	39	127
特別損失		
固定資産売却損	2	—
固定資産除却損	8	55
投資有価証券売却損	—	1
特別損失合計	10	57
税金等調整前四半期純利益	2,098	5,198
法人税等	625	1,452
四半期純利益	1,472	3,745
非支配株主に帰属する四半期純利益	130	99
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,342	3,645

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,472	3,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52	△24
為替換算調整勘定	580	1,424
退職給付に係る調整額	2	△1
その他の包括利益合計	530	1,398
四半期包括利益	2,003	5,144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,714	4,538
非支配株主に係る四半期包括利益	289	605

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	56,435	12,576	69,011	—	69,011
セグメント間の 内部売上高又は振替高	43	—	43	△43	—
計	56,479	12,576	69,055	△43	69,011
セグメント利益	1,371	714	2,086	△23	2,062

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去、のれんの償却額などが含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	67,683	14,835	82,519	—	82,519
セグメント間の 内部売上高又は振替高	129	—	129	△129	—
計	67,812	14,835	82,648	△129	82,519
セグメント利益	4,594	910	5,505	△103	5,402

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去、のれんの償却額などが含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。